

宝木だより

第20号
 発行 宝木地区まちづくり協議会
 (宝木地域コミュニティセンター内)
 TEL・FAX 028-624-0531
 (題字 北條信男氏 書)



宝木ぶらり

とちぎ健康の森

②



とちぎ健康の森は、宝木地区のほぼ中央に位置し、宝木小学校西側に接した敷地面積21haの広大な林にある。この地には、昭和19

年に宇都宮市立療養所が創設され、翌20年国立療養所梅花寮として、長期治療を要する患者の療養施設として運営されてきました。当時は針葉樹と落葉樹が混在する鬱蒼とした林で、周囲は堀により囲まれ市民の自由な出入りは規制されていたのです。平成5年に国立療養所の統合により廃止され、その敷地が栃木県に移管されたのです。

少子高齢社会の進展の中で、誰もが健康で生きがいを持ち快適に暮らせる社会を望んでいます。県は、こうした社会ニーズに応え県民の生涯健康と心のあたたかな福祉社会の構築をめざし、平成9年「とちぎ健康の森」がオープンしました。

施設は、温水プール・トレーニング室等備えた「健康づくりセンター」、シルバー大学校・シルバー人材センターなどを持つ「生きがいづくりセンター」、「リハビリテーションセンター・若草特別支援学校」が併設され、人間ドックの施設を持つ「保健衛生事業団等」などが入居しています。



宝木中初優勝

県下春季野球大会

6月に開催した中学生野球の春季県下大会において、宝木中学校が初の優勝を勝ち取りました。大きな自信になったことでしょう。

屋外にはテニスコート、グラウンドゴルフができる広場があり、また、建物を囲む林には、ウォーキングコースも設けられ毎日多くの市民が楽しそうに歩いています。このように素晴らしい施設を備えた健康の森は、まさに県民の福祉・健康づくりの殿堂であり、宝木地域の名所としても親しまれています。

